

2022年7月～9月に実施した主なイベント

- 7月 ※一部を除き、オンラインで開催
- ・「コートジボワール・ビジネスセミナー」
 - ・「アフリカの起業家から学ぶ～ジェンダー平等を踏まえたビジネス展開の課題と展望～」
- 8月
- ・TICAD8 公式サイドイベント「成功する投資促進と技術移転 - 日本からアフリカへ -」
 - ・「タジキスタン投資セミナー」
- 9月
- ・バングラデシュ企業との商談会（対面形式。大阪と東京で開催）



詳細情報は
UNIDO 東京事務所
ウェブサイトへ



UNIDO 東京事務所のアフリカアドバイザーにご相談ください

UNIDO 東京事務所は 2013 年より、**経験豊富なアフリカ投資促進アドバイザー**を 4 人配置し、アフリカでの事業を検討する日本企業のサポートに力を入れています。アドバイザーは分野などに応じて、**現地の政府機関との面談のアレンジや現地パートナーとのマッチング、現地企業の視察**など、アフリカで事業を行う上で必要なサポートを提供しています。現在、アルジェリア、エチオピア、モザンビーク、セネガルを拠点とするアドバイザーがアフリカ 7 カ国（**アルジェリア、ブルンジ、エチオピア、モザンビーク、ルワンダ、セネガル、ウガンダ**）を管轄しており、セネガルでは西アフリカの他のフランス語圏の国についても相談に応じています。2021 年には 63 社の日本企業を支援し、現地パートナーとのビジネス契約締結や連絡事務所の設立に成功した事例もあります。アフリカビジネスにご関心のある企業の皆様、UNIDO 東京事務所までお気軽にご相談ください。



ゆにわーるど



TICAD8：アフリカを日本企業の ビジネスパートナーに

目次

- ・TICAD8、チュニジアで開催
- ・フィールドレポート
- ・2022年7～9月に実施した主なイベント



国際連合工業開発機関 東京投資・技術移転促進事務所
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5 丁目 53-70 国連大学本部ビル 8 階
Tel : 03-6433-5520 Fax : 03-6433-5530
URL : www.unido.or.jp E-mail : itpo.tokyo@unido.org

アフリカを支援することは 持続可能な開発にとって必要不可欠

第8回アフリカ開発会議（TICAD 8）が8月下旬、北アフリカのチュニジアで開催されました。アフリカでは近年、海外直接投資が過去最高を記録し、スタートアップ企業が相次いで台頭しています。このようにアフリカをビジネスパートナーとして捉える機運が高まっていることから、アフリカにおける日本企業のビジネスチャンスは広がっており、また、日本企業から開発途上国や新興国への投資や技術移転を促進してきた UNIDO 東京事務所の役割もますます重要となっています。

国連貿易開発会議（UNCTAD）の世界投資報告書2022によると、2021年の海外直接投資が過去最高の830億ドル（2020年の約390億ドルから2.1倍増）に達し、アフリカのスタートアップ企業が総額52億ドル（2020年の3.6倍）、681件の投資（2020年から92%増）を調達しました。このように、ビジネスパートナーとしてますます重要になるアフリカを支援することは持続可能な開発にとって必要不可欠です。

イベントレポート



イベントの第1部では、UNIDO 東京事務所のアフリカアドバイザーの4人が、第2部ではアフリカ各国において投資促進を担う3人の専門家がそれぞれ登壇し、日本からアフリカへの投資促進と技術移転のベストプラクティスの紹介やその成功要因、および日本企業のさらなるアフリカ進出について議論しました。



第8回アフリカ開発会議（TICAD8）の開催に合わせて、UNIDO は8月28日、現地チュニスにて記者会見を開き、日本貿易振興機構（JETRO）、国際協力機構（JICA）、国連開発計画（UNDP）と共に日本とアフリカの民間セクター間の貿易と投資を強化するための新たなパートナーシップを結びました。

フィールドレポート

「アフリカを対等なビジネスパートナーとして」

TICAD で高まる日本企業への期待



UNIDO 東京事務所次長 村上秀樹

コロナ禍初の開催となった今回は、オンラインと対面のハイブリッド形式によって限られた人数のみがチュニジアに迎えられましたが、町中には日本をはじめアフリカ各国の国旗や日本語の看板、TICAD の横断幕などがずらりと掲げられ、歓迎ムードでした。会場のセキュリティに加え、感染症対策もとても気をつけて行われている様子も伝わってきました。

1993年に始まった TICAD は当初、「日本がアフリカを支援する」ことを重視した国際会議でしたが、近年は支援される側と支援する側で括るのではなく「対等のビジネスパートナー」として力を合わせています。そして主なテーマが人道支援から経済開発へと変わっており、産業発展を通じた経済開発を担っている UNIDO の役割はますます高まっていると言えます。

UNIDO は今回、JETRO、JICA、UNDP とアフリカにおけるイノベーションに向けた投資促進のためのパートナーシップをチュニジアの地で結びました。記者会見には多くのアフリカや日本、海外のメディアの記者が参加し、「UNIDO はこのパートナーシップにどのような専門性を持って貢献できるのか」といった質問が相次ぎ、注目の高さが見てとれました。また、UNIDO 東京事務所もオンラインでサイドイベントを実施しました。

UNIDO 東京事務所はビジネス的な視点から、途上国や新興国と日本企業をつなげてきました。コロナ禍になってからはほとんどの活動がオンラインに移行しましたが、今回チュニジア事務所の同僚と話したり、町の人た

ちと会話したりする中で、チュニジアの文化や歴史、近年の動向などについて多くの学びや気づきがありました。チュニジアにはすでに10社ほど日本企業も進出しており、関心がある日本企業の皆さんはコロナ禍が落ち着いたらぜひ視察に行ってほしい国です。



!!
コロナ禍になってからはほとんどの活動がオンラインに移行しましたが、
現地に行くことの重要性を改めて実感しました。
!!